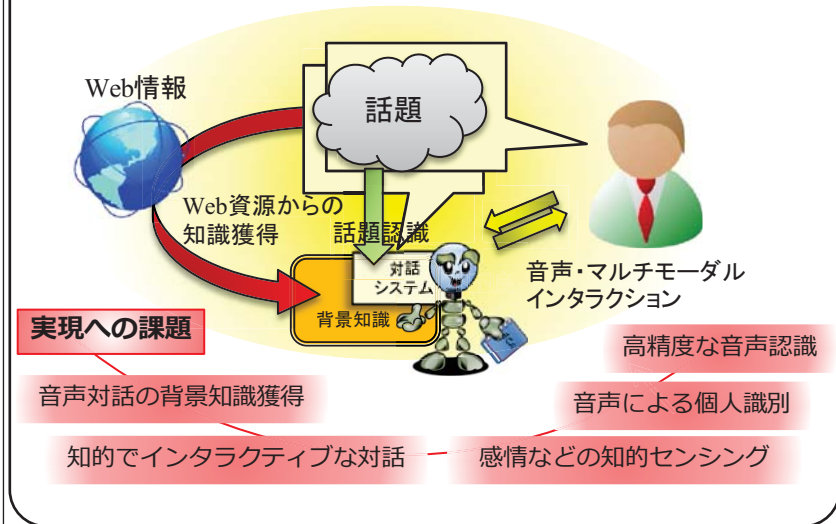


知的対話システムの構成例



音声言語情報処理に基盤を置いた、音声対話やマルチモーダル対話システムの研究を行っている。

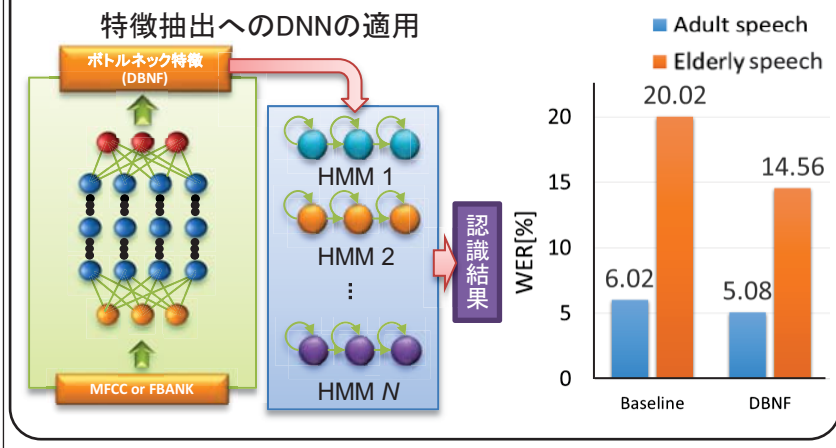
音声認識に関しては、雑音下音声認識や年齢など個人差に頑健な音声認識などを研究してきた。最近では人工知能分野で大きな飛躍を遂げた深層学習 (Deep Learning) に基づいたDNNベースの特徴抽出により、さらに高精度な音声認識性能を達成している。

音声対話では、noviceなユーザでも心地よく音声対話システムを使いこなせるための、応答発話タイミング制御などの研究を行ってきた。

さらに、音声とジェスチャを統合したユーザの意図理解を目標として、それらの統合的な認識手法の研究も行っている。

これらの技術的背景に基づき、現在では高齢者が負担なく使える音声対話システム技術や、半自動運転車とドライバーとの間のマルチモーダルインタフェース技術の確立などを目標として、上記の基礎技術の高度化と共にシステム開発を行っている。

音声認識の高精度化—年齢によらない認識性能—



分野: 情報学

専門: 知能情報学

E-mail: kitaoka@is.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-9447

Fax: 088-656-9447

HP : <https://sites.google.com/site/norihidekitaokashome/>